

分野	科目名		配当年次	開講期
専門分野	臨床推論		2年次	後期
単位数	時間	担当教員		実務経験の有無
1単位 (15時間)	16時間	石丸 綾佳		有
授業の概要	事例患者の状態や状況に対し、何が起きているのか「気づき」、既習の知識を基にしてその場で推論する演習を行う。実習で体験したことの振り返りも含めて、臨床判断するための基礎的な思考過程を演習によって身につける。授業ではシミュレーターや映像教材を用いて臨床場面に近い演習を行い、より実践的な学びを行う。また、協同学習を取り入れ、仲間と話し合うことによってお互いの理解を深める。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床判断とは何か理解する。 2. 各事例に対して、臨床判断モデルに基づき推論する必要性が分かる。 3. 推論に必要な基礎的知識の活用、基本技術（コミュニケーション・フィジカルアセスメントなど）の活用ができる。 			
授業計画	No.	授業内容	授業方法	備考
	1	臨床判断とは なぜ必要なのか 臨床判断モデルの4つのフェーズ 臨床実習の時に何を意識し、どのように思考すると判断能力が養えるのか	講義	
	2 3	事例1 日常生活援助の場面「排泄」 ・対象者や周りの環境を観察し、アセスメントをすることで「気づく力」を高める ・間違い探し演習	講義 GW	
	4	実習中に学んだ臨床推論場面での学びの共有 各病棟の臨床推論実習での取り組みから	GW	
	5 6	事例2 学習ガイドに沿って術後患者の推論をしよう 1. 事例患者に合わせた【背景】の学習 2. 電子カルテから必要な情報を収集し、【背景】の学習を進めよう	講義 GW	
	7 8	3. 臨床判断モデルに基づいて、【気づく】【解釈】【反応】【省察】を考え、実践しよう ・DVD視聴から【気づき】と【解釈】を行う ・【反応】を考え、シミュレーターに実践する ・実践内容を【省察】する	演習	
	評価	レポート評価		
参考文献	<ol style="list-style-type: none"> 1) アセスメントに自信がつく 臨床推論入門 第一版. メディカ出版. 2019 2) 臨床判断ティーチングメソッド 第一版. 医学書院. 2020 			
備考				